

HOYOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078) 341-5949代
【編集】教区基推委広報部

1997. 3. 111号

和歌山・貝塚み跡訪問

寺婦研修旅行 なごやか27人

二月二十五・二十六日に第十一回寺婦研修旅行(辻岡武子委員長)に初めて参加いたしました。この旅行は、徳川所長が吉崎御坊にお連れくださいましたこと

に始まり、小滝、土基所長と所長さまがおかわりになられましても、各地にお念仏のみ跡を尋ねる旅を計画引率くださったそうです。それぞれお念仏の道場や御

坊などを巡る素晴らしい旅であったとお聞きしました。寺へ引率くださいました。来る平成十年の蓮如上人五百回遠忌法要を前にして蓮如上人がご苦勞にご苦勞を重ね、念仏のご法義をひろめてくださり、証如上人や頭如上人の叡智と決断を偲ばせていただけるのみ跡を巡り、戦乱によって本願寺の移転をよぎなくされ



和歌山鷲森別院に参拝して

た当時を思い、私は言葉とてなく、胸をつきさされるような緊張感といたみを覚え、ただただお念仏を申すのみでした。

各組からご参加いただいた二十七名のうちには、初めてお顔を合わせた方々も多く、少し不安でしたが皆様の輪の中に自然と入らせていただけ、くつろいだ気分が巡らせていただけたことは本当にありがたかったです。

坊守としてなかなかこうした機会に恵まれない私たちですが、自坊のことも家族のことも一切お任せして参加でき、そしてまた還らせていただけるお浄土がある人生と同じように、この旅行を終えて帰らせてもらえる自坊があると思うとありがたくもったいなく思いますが、一層楽しい旅でした。また、素晴らしい坊守さまにお逢いできましたのもお念仏をいただく身のお蔭さまと喜ばせていただき感謝をもちたいと思います。まだご参加されていない方々は、来年にはひとりでも多くご参加くださいますようお願いいたします。

(寺婦連盟副委員長 本田美喜恵)

教区だより		3・4月	
15日(土)~16日(日)	別院常例法座 鹿多証道師	1時半	
16日(日)	仏壮常任理事会・理事会	10時半	
17日(月)	仏婦震災復興支援法話会	淡路組・萬行寺	
19日(水)~21日(金)	別院春季彼岸会	野村康治師	1時半
20日(木)	御同朋の社会をめざす法要	本山	
24日(月)~25日(火)	全国組長研修	本山	
24日(月)~25日(火)	近畿仏婦委員長懇談会	滋賀	
24日(月)~26日(水)	'97仏青スプリングスキーツアー	長野県・桐池	
25日(火)	総代評議員総会	1時半	
26日(水)	社推協兵庫支部評議員総会 ビハラ兵庫役員会	10時半 2時	
28日(金)	教区会	10時半	
31日(月)	布教団役員会 ビハラ兵庫研修会	1時半 2時	
4月1日(火)	日校指導者研修会	1時半	
5日(土)	第一土曜仏教講座 仏青総会・研修会	1時半 11時	磯辺康子師
6日(日)	震災支援本願寺花まつり	本山	
8日(火)~9日(水)	輪番基幹運動推進研修会	本山	
15日(火)~16日(水)	別院常例法座	1時半	窪田正憲師

聞くひとつ

著者 九折舜壽



教区選出宗会議員の九折総務が、平成四年から同五年までの大谷本廟局長、同五年七月から同六年十一月まで総務をつとめられた期間に本廟春秋彼岸会四回、

幸子と真利

発行者 西福寺 豊原大成



阪神・淡路大震災で豊原師は父であり西福寺前住職大潤元総長、坊守の幸子さん、娘の真利さんを亡くされたが、この度、幸子さんと真利さんの追悼誌として発行された。友人、知人、

日本海重油流出事故 義援金のご依頼

この度の日本海で沈没したタンカーの重油流出事故に伴う重油の漂着被災は、山陰から北陸、東北へと広がり、東北、国府、新潟、石川、福井、京都、山陰、兵庫等の各教区に及んでいます。

兵庫教区でも城崎組の日本海沿岸の数カ所の所在地域が直接被災を受けられ、その対応に苦慮されています。

この重油被災について、去る二月五日「地方災害対策委員会」を開催し検討の結果、今回の被災は広範囲に亘っていること、また阪神・淡路大震災では全国から多大のご援助をいただいたことにも思いをはせ、重油流出被災のある各地の皆様への義援金を募らせていただきます。出来る範囲内でのご協力をお願いいたします。

義援金受付口座
郵便振替口座
009000191101
682
兵庫教区災害対策委員会

敬弔

富井哲文師(とみい・てつぶん)新宮組西勝寺住職)二月二十五日、六十六才で往生。葬儀は二月二十八日西勝寺で、「徳願院釋哲文」昭和五十七年から住職在職十五年。その間昭和六十一年から平成二年まで副組長。また、平成二年から教区会議員現職。

鹿多見道師(しかた・こうどう)加古川組妙正寺前住職)三月一日、八十九才で往生。葬儀は三月四日、妙正寺で、「遠慶院釋見道」昭和十六年から平成八年まで住職在職五十五年。その間昭和三十四年から同四十二年まで組長。昭和三十二年から同三十四年まで副組長。本願寺派布教使。

基幹運動アンケートにご協力

全寺院に「兵庫教区基幹運動推進状況アンケート」のご提出をお願いいたします。現在、回収率は45%です。ご協力ください。

建設懇志進納総額
二十二億七千二百八十七万七千六百八十八円
(97年2月28日現在)



過日、住職継職奉告法要を終えた。好天に恵まれ、境内に立てた

20人感動の一泊研修

教区連研履修者 別院で

教区基幹運動推進委員会 講師に、連研中央講師の「連研推進委員会（藤榮行信代表）」では、二月八日から九日までの一泊二日、兵庫教区教化センターを会場に「一九九六（平成八）年度教区連研履修者研修会」を行った。

この研修会は、各組の連研を修了された方々を対象に、連研履修者の研修内容を総括し、履修内容を正確に認めることにより法座活動のよろこびと他組の履修者相互の交流をはかり、併せて中央教修の受講意欲を培うことを目的に、はじめての試みで開催された。

研修会は受講者二十名が三班に分かれた法座を中心に行われ、自分自身の体験談をもとに日常での取り組みや私の悩みが活発に話し合われた。「田座の話し合いも初めてで物言う言葉すらも戸惑いがありました。家に帰ってからあんなことこんなことお尋ねしたいことも一杯あったことに後悔しています。」と、法座の感想を寄せられた。また、スタッフ（僧侶）からも「話し合い法座の輪の中に入れていただき感激しました。」と、報告いただきました。連研の場で話し合い法座が増えつつある昨今ではあるが、あらためて法座の意義をみつめてみたい。就寝動行は、ともしびのつどいとして、真つ暗な本堂のなか荘厳なBGMとナレーション、音楽礼拝、キャンドルサービスとすすめ二十個のともしびを見つめながら法話を聴き、そのともしびを献灯、全員で恩徳讃を斉唱して終えた。受講者は「感動しました。お寺もこんなふうに行けるんですね。」と、初めての経験に感動していた。



熱心に聞く受講者

「参加してよかった」との感想が寄せられたことを思い次年度以降の継続しての開催が望まれる。

来年四月八日から十一日までの四日間、蓮如上人五百回遠忌法要記念として、日本では十一回世界仏教婦人会大会が開催されます。

私も大会企画準備委員として、当初から参画させていただきほぼ大綱が決まりました。要約しますと、九月に「前夜祭」として海外

近畿仏婦大会 10月に神戸で

来年の世界大会に向けて

の方々と交流会を本願寺白洲を三つのエリアに分けて行います。兵庫教区からは二百余名の参加割り当てがあります。十日には、大阪市の大阪城ホールに会場を移し、一万人の「大会式典」が開催されます。兵庫教区からは七百四十余名が参加割り当てです。



蓮如上人五百回遠忌法要記念

大会テーマは「輝くいのち——伝えよう 私らのベーション」とし、高齢化社会、核家族、離れて住む子孫におみ法をどう伝えていくか、みにくい争いにも悲しいできごとにも、さけて通れない現実には流されながらも阿弥陀さまのみ手のなかで、大きな慈悲のなかで、生かされていくことを気づかせていただく大会としてお迎えしたいと念じています。

第十回世界大会が開催されたアナハイムやシアトルで出会った法友から、日本を訪れる日を楽しみに待っています。

（仏婦連盟委員長 木村 久子）



「同朋運動Q&A」作る

HO日誌

◆2月1日 第一土曜仏教講座を別院で。講師は菅純和師（御堂さん編集部員）テーマは「ほめじょうず」

◆3日 復興支援の会を別院で ◆4日 近同推役員会 会員研修会が大阪人権博物館で ◆5日 地方災害対策委員会を別院で。日本海重油流出事故災害について。委員長は高橋所長。委員に齋藤蓮水（阪神東組来恩寺）藤田時男（神戸東組専念寺）田中法劍（神戸湊組光明寺）久堀弘義（神戸湊組行願寺）光森宣明（北摂組正覚寺）山本宣昭（淡路組萬行寺）山崎一朗（出石組正福寺）〈敬称略〉 ◆7日 別院仏婦定例法座。講師は藤榮行信師（淡路組宣徳寺） ◆如月忌法要が本山で。教区から百七十三名が参拝。 ◆8日 9日 連研履修者研修会を別院で。講師は波佐間正己師（山口教区美祢西組正隆寺）。二十名の連研修了者が参加 ◆8日 9日 第四回ビハラ全国集会在広島別院で。教区から増井

浄見ビハラ兵庫代表（赤穂北組浄蓮寺）前田正子（阪神東組源正寺）前川文（神戸湊組尊光寺）上田値斜子（揖龍東西法寺）丸山順子（赤穂北組称念寺）宏林教正（尖栗組妙福寺）宏林澄代（同）田中千寿子（出石組西宗寺）長尾通子（岡山南組光清寺）杉原幸子（岡山南組浄覚寺）〈敬称略〉安井秀顕担当者の十一名が参加 ◆9日 氷上西組正福寺住職継職奉告法要に高橋所長が連書伝達 ◆10日 門推結成十周年記念行事の総務部会、企画部会、編集部会、財務部会を別院で ◆復興支援の会を別院で ◆12日 13日 近畿教務所長・教区会議長・組長代表者会がメリケンパークオリエンタルホテルで ◆13日 滋賀教区神崎組仏婦より別院に団体参拝 ◆14日 別院永代経開講法要 ◆15日 16日 別院常例法座。講師は藤本唯成師（神明組善徳寺） ◆17日 復興支援の会を別院で ◆18日 蓮如上人五百回遠忌法要第二回同朋総結集大会企画委員会を別院



テキスト「同朋運動Q&A」

◆19日 仏婦常任委員会

を別院で ◆高砂組教徳寺より別院に団体参拝 ◆19日 20日 総代一泊研修会を別院で。講師は宇野行信師（大阪教区東住吉組常徳寺）。テーマは「蓮如上人が見つめた目」。四十六名の門徒総代が参加。宿泊は市内の料亭鈴江で ◆21日 22日 大阪矯正管区支部一泊研修会が鷺森別院を主会場に研修。和歌山刑務所を訪問し、施設見学と処遇内容を聞く。懇親会と宿泊は、同市内の双子島荘にて。教区から高橋廣爾所長、尾崎普賢（播磨中組教福寺）小松勝昭（姫路東組浄福寺）本川英暁（神戸中組西方寺）赤松勳了（神崎組教願寺）光森宣明（北摂組正覚寺）〈敬称略〉黒田正宣主事、竹内英昭担当の八名が参加 ◆23日 第25回門推研修会が真宗寺（後藤芳樹住職・姫路中組）を会場に開催。講師は本山中相相談員の武田達城師（大阪教区島下組千里寺）。テーマは「信心の社会性」。九十五名の参加を得、多人数ながら六班に分かれた法座を中心に活発な話し合いを行う ◆24日

姫路6組で消息披露



ご消息拝受

の「答え」を中心に編集されていく。久堀師はテキスト作成までのいきさつと今あらためて確認すべきことをはじめに話されて、「運動」「同朋運動の教学基盤」「業論」そして「真俗二諦」等、つまびらかに説かれた

◆24日 復興支援の会を別院で ◆25日 26日 寺婦研修旅行を鷺森別院と願泉寺、了賢寺に参拝。二十七名が親睦をはかる ◆26日 保育理事会研修委員会を別院で ◆27日 蓮如上人五百回遠忌姫路ブロック六組ご消息披露が姫路市内の姫路東市民センターで。特命布教は大田唯念師（播磨中組西念寺）。参加者は神崎組（山本達誓組長）、神姫組（竹中昭英組長）、姫路東組（小松勝昭組長）、姫路南組（秦克和組長）、姫路中組（清水勤組長）、姫路西組（林教順組長）から三百名。第一回から三回の総括として話された。十六名が参加 ◆兵庫東仏教教誨師会研修会を別院で ◆28日 社推協兵庫支部研修会を別院で。講師は河辺卓師（滋賀教区蒲生下組西性寺）テーマは、「出遇い・気づき・関わり」